

各教室の取り組み

2011年8月1日

制作 滋賀県障害児地域療育連絡協議会
<http://www.shiga-syouchiren.net/>

『彦根市あすなろ教室』（彦根子ども療育センター）

発達上の課題をもつ就学前のお子さんが、現在、70人余り利用しています。お子さんには、さまざまな遊びを通して発達をサポートしています。また、平成22年度に施設増築し、親子療育教室「つぼみ」も同時に開催しています。今回は、教室内でしている手遊びを紹介します。

だいこんきって

対面に座るか、ひざの上に抱っこしながら、子どもの片手を持ちます。

「♪だいこんきって～」で、お母さんは手を包丁にみたてて、お子さんの腕をトントントン……。

「♪たたいてつねって～」は、手のひらをたたいてつねって……。

「♪かいだんのぼって～」は、お母さんの指でお子さんの腕をくすぐっていきます。お子さんの様子を見て、喜んでいる子には頭の辺りまでくすぐってみましょう。くすぐりが苦手なお子さんもあります。その時は、やや強めにギュッギュッと握っていくといいでしょう。

「♪うらからまわって～」で、腕を少し持ち上げ、裏側をこちょこちょ……と、しながら全身をくすぐっていきます。

お子さんの様子を見ながらしていきましょう。喜んでいるお子さんには、「さあ、くすぐるよ～」と感ぜられるように顔を見ながら、声のトーンを変えたりしながら、少し派手にくすぐるといいでしょう。

くすぐりの苦手なお子さんには、短めにしっかりとくすぐり、「はい、おしまい！」と声をかけ、終わりがわかるようにするのも方法です。くすぐりの感覚に慣れてきたら、楽しみになってくることもありますので、無理をせずに繰り返してみましよう。できれば両手、足にもトライしてみてください。



だいこんきって♪

だいこんきって きりすぎて
たたいてつねってなでて
かいだんのぼっておりてきて
かいだんのぼっておりてきて
うらからまわって
こちょ こちょ こちょ～

ペンギンさん

ペンギンさん♪

ペンギンさんが こおりのおやまをのぼります
とこ とこ とこ とこ……

すーっとすべって いいきもち

しろくまさんが こおりのおやまをのぼります
どこ どこ どこ どこ……

すーっとすべって いいきもち

かにさんが こおりのおやまをのぼります
こちょ こちょ こちょ こちょ～……

すーっとすべって いいきもち

親子で対面または、ひざの上に抱っこをしながら、お子さんの片手を持ちます。

「♪ペンギンさんが こおりのおやまをのぼります～」では、お母さんは手をパーにして、お子さんの手のひらをトントンと叩きます。

「♪とこ とこ とこ とこ……」と、リズムに合わせて、手のひらから肩までトントン叩いていきます。肩の辺りは、少し強めに早く叩くといいでしょう。

「♪すーっとすべって」で、子どもの手のひらまでお母さんの手を滑らせて、

「♪いいきもち」では、もう一度、手のひらをトントン叩きます。

「しろくまさん」は、お母さんの手をグーにして行います。進め方は、「ペンギンさん」と同じです。

「かにさん」は、お母さんの手をチョキにして、指先で登っていきます。最後に「♪こちょ こちょ」で、全身をくすぐります。トントンと叩くときの力の入れ具合やスピードを少しずつ変えながら、お子さんの好きな強さや速さを見つけましょう。また、「♪こちょ こちょ」とくすぐる前には、しっかりとお子さんの顔を見ましよう。「タメ」を作ると、「くるー」と期待して嬉しそうに待つ姿も見られます。

「あすなろ教室」では、担当とスキンシップをとりながら楽しんでいきます。親子でのちょっとした時間の合間に、簡単にできる手遊びです。ぜひ、楽しんでみてください。

毎月の保護者のお知らせの裏面に、浜の子園で取り組んでいる遊びの内容や目的についてまとめたものを配布しています。今回サーキット遊びについてまとめたものを報告します。

あそびのまなび。

今回のテーマ「サーキットあそび」

浜の子園でのあそびの中から、今回は「サーキットあそび」をご紹介します。子どもたちの大好きな活動です。楽しみながら心身の機能を高めていくことができるため、浜の子園では設定あそびの中でよく取り入れています。

達成感を もつ

スタートとゴールがはっきりしているため、1周ごとに「できた」という実感を持つことができます。1周終わるごとにシールを貼るなどして、楽しみ・目標が持てるよう、また成果が見てわ

ルール・他者を 意識する

決まったコースを通ることや順番を守ることを意識できるようになったり、おともだちの様子を見ながら参加することもお子さんにとっては

身体への 意識を

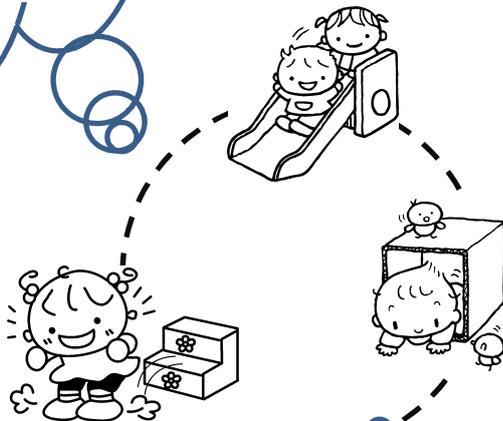
トンネルくぐりなどを通して自分の身体の大きさ、ものとの位置関係、距離などの意識を高めることができま

注意力を育てる

平均台の上で障害物をよけながら歩いたり、ブランコで揺れながら的当てをすることにより、注意力を

バランス能力を養う

平均台を渡ったり、目的地へ飛び降りるなどの粗大運動を通して、目と身体の協応性を高めたり、はしごの上を四つ這いで移動するなどの動きにより手足の協調動作を促すことが



【近江八幡市】

子ども療育センター ひかりの子が拡張しました

昨年10月から改装工事を進め、平成23年4月より、近江八幡市子ども療育センター「ひかりの子」の3百平方メートル分のスペースが拡張され、新しいプレールームの利用を始めました。

これまでプレールームは、1室だけだったが、隣接部屋旧浴室を改装して新プレールーム1室が増設され、計2室体制になりました。保護者用観察室や教材庫なども部屋数が増え、定員が30人から50人に増員されました。

ひかりの子第2ルーム



観察室

テラス



米原市こども療育センター ひまわり教室



ひまわり教室は、発達に心配のある子どもたちとご家族のために、早期からの療育の場として設けられた施設です。

子どもたち一人ひとりの発達を支え、家庭や地域集団での子育てを支援しています。

～ 家庭訪問 ～

子どもの家庭での生活や家庭環境を知り、保護者の方の思いや悩みなどを話し合う中で共通理解と連携を深めていくことを目的に、年1回、6月から7月にかけて家庭訪問を行っています。

事前に保護者に希望を取り日程調整をした上で、療育担当保育士と、心理判定員もしくは園長・主任の2人一組で1時間を目安に訪問し、一人が子どもと遊び、一人が保護者と話すという形式で進めています。

当日は、「あれ？なんで先生がお家にいるんだろう？」と言うかのように不思議そうな表情で迎えてくれる子、「先生が来た！」とはしゃぐ子など、さまざまな姿が見られますが、一番安心できる場所で過ごす子どもたちの姿に、教室では知ることのできなかつた新たな一面を発見することもあり、楽しみなひと時となっています。また、週に1度の療育でなかなかお会いできない分、保護者の方と雑談も交えながらゆったりと話せる時間を作ることも、何でも話し合える信頼関係を築いていく上で大切なことであると改めて実感しています。

家庭訪問を一つのきっかけとして、日々の療育や会話を大切に、子どもたちから『ひまわり教室大好き！』と思ってもらえるよう、また保護者の方の『ほっと出来る場所』になれるよう、努力していきたいと思っています。



【長浜市子ども療育センターいちご園の取り組み】

◆センター紹介

いちご園は、滋賀県最北にある療育センターです。平成22年1月の市町村合併により、長浜市内全域からいちご園に通園できるようになりました。湖北の緑豊かな自然環境を生かし、子ども達がさまざまな体験ができるよう遊びや活動の内容を設定しています。

◆あそびの紹介

今回は、初夏に楽しむカニやザリガニ採りを紹介します。

いちご園から数十分歩いたところに、カニやエビ、ザリガニなど、さまざまな生き物が生息しています。

さんぽを兼ねて出かけるのですが、事前にさんぽの目的を伝えておくと、子どもたちも期待感いっぱい活動に臨めます。



日常ではなかなかできない体験に、子ども達は普段とは違った様々な表情や、生き生きとした姿を見せてくれます。

初めての場所、慣れない活動に戸惑いを感じる子どももいますが、その子のペースに合わせて関わっています。

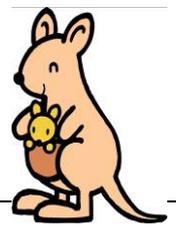
最初は生き物に興味なかった子どもでも、自分で採った生き物には特別な気持ちが湧き、興味を示し始めます。家に持って帰って飼育し、毎日のえさやりを楽しみにしている子どももいます。

また、自然あふれる開放的な環境の中では子どもたちもリラックスでき、友だちや先生といろいろな交流が持てます。

いちご園では欠かせない、この季節ならではの活動です。



高島市カンガルー教室



当教室は、高島市在住の乳幼児とご家族を対象とした療育教室です。在宅児（未就園の子どもさん）のクラスと、併行通園児（保育園・幼稚園等に通っている子どもさん）のクラスがあり、それぞれで親子あそびや発達に応じたあそびを行っています。お家の人との遊び、教室での人気のある遊びを紹介致します。

<施設名の由来>

「子どもを大切に育てながら、母子共に力強く飛躍したい」という思いをこめて、母子教室時代（S48年～S57年）に通所されていた方々が、命名されました。

★ふれあいあそび★

ゆったりと保護者の方に歌ってもらいながらふれあうことで心地よさを感じている子どもたち・・・
大好きなあそびのひとつです。

じぞうさん

♪こーりゃー どーこの じーぞうさん
うーみの はーたの じーぞうさん
うーみに つーけて どぼーん!



※横抱きにして、歌にあわせてゆっくり左右に揺らし「どぼーん」でゆっくりおろす。

★自動販売機★

段ボール箱で作った自動販売機。
実際にペットボトルを使って好きなものを選べるようになっています。また、お金も作って投入できるようにしています。生活で経験していることはイメージが持ちやすいです。子どもさんが好きなお店やさんごっこなどに、使って遊んでいます。



★うんどうあそび★



<ねらったフルーツの場所に着地> <ねらいを定めて棒にぶら下がります> <はしごを登ってでこぼこ巧技台を慎重に進みます>

全身を使っの運動遊び。よじ登ったり、しっかり握る、ジャンプ、と次々に挑戦しています。

この遊びは6月の運動会でも行いました。それぞれの力に合わせて巧技台の高さを調節したり、はしごの上にマットを敷いたりといろいろな遊び方を工夫しています。ぶら下がり棒の下にはフルーツマットがあり、自分が着地したいところに狙いを定めて降ります。



今回は、つくし教室の大きな行事の一つ、「おたのしみ会」を紹介したいと思います。

普段療育に参加出来ない家族の方々にも参加してもらい、子どもの様子を見てもらったり、教室への理解を深めてもらいたいという思いから、毎年12月23日(祝)に開催しています。祝日なので、ほとんどの方が参加してくださっています。場所は、愛荘町にある「愛荘町いきいきセンター」という所をお借りし(貸切です)、Xmasらしい装飾をし、入っただけでワクワクするような環境を作っています。スタッフは全員仮装で、みなさんをお迎えしています。



お楽しみ会の内容は・・・

①コーナー遊び

3つのコーナー(運動遊びコーナー、ゲームコーナー、おもちゃ作りコーナー)を部屋ごとに設定し、好きな所で遊べるようにしています。

②グループごとに出し物

会の後半は、子どもたちが療育の時間に頑張って練習した出し物をグループごとに発表します。歌、合奏、劇、サーキットのチャレンジなど、グループのカラーに合わせて内容を考え、子どもたちが自信を持って発表でき、頑張ったことを認めてもらえる時間にしています。緊張する子もありますが、観客から拍手をもらうとみんな満面の笑みを見せてくれます。

③スタッフの出し物

毎年内容は変わりますが、劇をしたりダンスをしたり、合奏したりなど・・・、子どもたちが(保護者さんも?)喜んでくれそうな事を考えて発表しています。

④サンタクロースからプレゼント!

サンタさんがやってきて、みんなにプレゼントを配ります。子どもたちはサンタさんにプレゼントをもらって大喜び。握手をする子などもありますよ。

○その他に、子どもたちが療育時間に作った作品を展示したり、グループごとに療育の内容を紙にまとめて展示するなど、展示コーナーも作っています。展示コーナーは、家族の方が熱心に見て下さっています。



当日は、各町の職員の方々、JAの方々、一般のボランティアの方々に協力していただき、スムーズに行事を進めることが出来ます。感謝しております。

今後も、家族みんなで楽しんでもらえるよう、「おたのしみ会」という行事をスタッフ全員で盛り上げていきたいと思っています!!

長浜市こども療育センター わかば園

今回は、“大型すべりだい”での遊びを紹介します。

わかば園にある大型すべりだいは、ひまわり教室さんにあるすべりだいを参考に、大工さんに作っていただいた特注品で、平成14年に作っていただいたものです。

遊びは、普通にすべるだけではなく、うつ伏せや仰向けですべることを楽しんでいます。

また、斜面を使って、バランスを取りながら歩いて登る、手をつけて4つ這いで登る、走り降りる、ミニカーを走らせる、ボールの転がし合いっこ、バルーンを転がしてクッションを積み上げた塔を倒す…など、いろいろ遊べます。

その中でも、いち押しの遊びは、**マットすべり**です。



写真のように、カラーマットにロープを結びます。

マットに子どもたちが4～5人乗ったら、『5・4・3・2・1・しゅっぱーつ』で大人がロープを引っ張ります。

ただマットに乗ってすべるよりも、スピード感がアップして、楽しいようです。すべり終わると、急いで階段を登り、マットに乗ってくれます。

このとき大人は、子どもたちが階段を登るまでにマットを斜面の上まで持ち上げないといけないので少し忙しいですが、子どもたちに負けていけないので、頑張っています。

座っての姿勢保持が苦手な子は、うつ伏せや仰向き姿勢で楽しんでいます。